K's NEWS
KANSAI HOKURIKU BLOCK in AREA ×3

印刷して学生みなさんでお読みください！

全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：石田 遥
協力：京都工芸繊維大学生協
発行日：2021年5月12日
第097号

京都工芸繊維大学生協
工繊生に聞いてみよう！～大学生活のあれこれ～

[新学期]

取り組み概要

日時：3/14,15,17,27,28,31
場所：zoom
参加者数：全日程合計40名程

背景や概要：例年は対面での説明会の後に個別相談会を行っていたが、コロナの影響でオンラインに切り替えた。
大学生活や生協についての説明は動画にして工繊大生協HPに掲載されている。

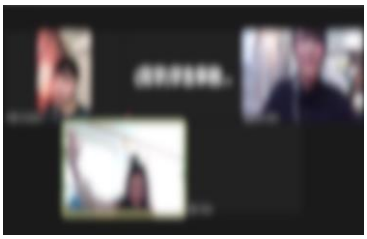
交流と雰囲気づくりを大切に

POINT.1 少しでも雰囲気が伝わるように

↑実際の様子

今年はコロナの影響を受け、初の試みとしてzoomを使ったオンライン相談会を開催しました。オンラインでの相談会は参加者に会場の雰囲気が伝わりづらいことが多いですよね。しかしこの相談会では、生協のショップ内からスタッフが参加することで、工繊の雰囲気を少しでも感じてもらおうとしていました！先輩が実際に使用した教科書を見せる場面もあり、工繊生としての実感を持てるような工夫がなされていました◎

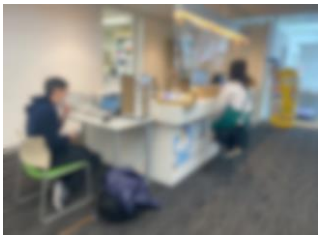
POINT.2 相談だけでなく交流も



相談会は学科別に日程を分けて開催され、それぞれの学科の先輩スタッフが対応を行いました。ブレークアウトセッションで少人数に分かれた後、スタッフが大学生活や生協について質問がないかを聞き出していました。どのスタッフも自分の実感から話すことができていて、新入生も聞き入っていました！

またスタッフは質問に答えるだけでなく新入生同士の交流も促していました！新入生同士がつながることで友達作りの面も果たしています。入学後を見据えたサポートができていていいですね✿

POINT.3 職員さんとの連携も◎



この相談会を開催するにあたり、初期の段階から職員さんと定期的な会議を重ねていました。相談会に参加した保護者は新入生と分けて職員さんが対応しており、生協加入や共済の詳しい内容についての説明を行っていました。

職員さんとしっかり連携することで、新入生と保護者どちらのニーズにもうまく応えられていますね！

つながる元気、ときめきキャンパス。 univ. CO-OP

17 パートナーシップで目標を達成しよう

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [石田 遥]
Ishida.Haruka@univ.coop